

NEW

デュアルアペックスミル ディファレンシャル (仮称)

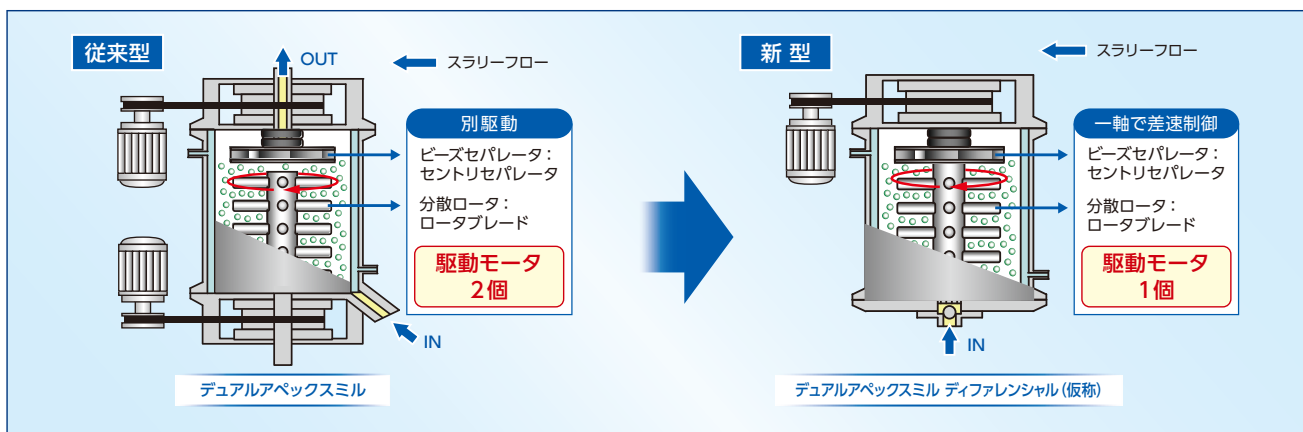
Dual Apexmill Differential

概要

デュアルアペックスミル (DAM) はセントリセパレータとロータブレードを別駆動にすることにより、微小ビーズの使用を可能にしながら、低シエア分散を実現しました。これにより材料に合った最適な分散が可能となり、

- 粒子へのダメージ抑制
- チタン酸バリウムのチップング抑制による誘電特性向上
- 液晶顔料、電池材料の増粘抑制
- 変形しやすい物質の変形抑制

を実現し、評価をいただいております。デュアルアペックスミルディファレンシャル (仮称) では構造がシンプルになり、性能はそのままに、メンテナンス性、運転安定性の向上等、大幅な改善を実現いたしました。



メリット

- 小径ビーズを使用でき、かつ低回転 (低周速) 運転ができるため、粒子にダメージを与えず、製品特性を維持した分散が可能です。
- セントリセパレータとロータブレードを1軸で制御するため、従来機 DAM と比べて構造が簡単になり、メンテナンス性が大幅に向上しました。
- 1軸制御により、原料スラリーをミル下方中心部 (ロータによる遠心力を受けない場所) から投入できるため、供給圧力上昇の少ない安定運転が可能です。
- 液晶顔料や電池材料などで問題となる過分散による増粘を抑制します。

分散用途例

- 積層セラミックコンデンサ材料 (チタン酸バリウム、チタン酸バリウム原料、ニッケル)
- 顔料 (カラーフィルター、インクジェットなど)
- 中空シリカや金属粒子など結晶状態の維持を求められる材料



HIROSHIMA METAL & MACHINERY CO.,LTD.

広島メタル&マシナリー